

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題2	地域医療構想においては、地域で役割分担をしなければならない。紹介受診重点医療機関について、下呂温泉病院の意向が無い理由は金山病院と話し合いのうえで決定しているのか。	金山病院とは連携をとり、話し合っている。 高齢化が進み、金山地区と下呂地区は距離もあるため、それぞれで密着医療をしていく必要がある。また、今後は同じ所と同じ資源を投入せず、効率よく医療提供を行うため、連絡会議の実施やコンサルの導入を計画している。（下呂県立病院）
2	議題3,4	高山赤十字病院の新病院構想の現在の進捗状況はどうか。	高山赤十字病院は看護師不足が原因で病床運営の1病棟を休床していたが、コロナ流行期にはこの病床を使用してコロナ感染症を乗り切ることができた。 休床中病床については、診療報酬の改定や病院の機能について検討している。岐阜県北部全体で、役割分担や連携体制について議論を深めていく必要がある。 昨年の8月に高山市と高山日赤病院と久美愛厚生病院で3者協定を結んだため、進捗を加速していきたい。（高山赤十字病院）
3	議題3,4	下呂から提案のあった、他地域の地域医療連携推進法人について、その後の進捗状況は。	現在、高山赤十字病院から話があり、まずは高山市の2病院と市を含めた形で具体的な話をする中で、法人の使い道の議論を煮詰めていくことが大事だと思う。
4	議題3,4	地域連携推進法人を、もし飛騨地区で立ち上げるとしたら各病院入りしたいか。	ぜひ入れていただきたい。（飛騨市民病院） ぜひ入れていただきたい。今後、圏域ごとにセンター化して人材不足、高度医療に対応しなければならない。医師不足へは、個別で岐阜とやり取りしているケースが多いが、立派なセンターを飛騨圏域で一つ持ち、遠隔医療の拠点とし、賄えない部分を都市部に依頼するという構想が必要だと思う。（下呂温泉病院） 当院は下呂温泉病院と連携し、間接的にかかわる形になると思う。（金山病院） 法人ありきではいけないと思っている。岐阜県北部全体の営業が継続していけるのか等、広い視点をもって進めていきたい。地域の医療には積極的に参加し、協力したい。（久美愛厚生病院）
5	報告事項1,2	今年4月に松波総合病院と海津市医師会と美濃市で連携法人が作られたが、人材交流や人事派遣等の目的やメリット等、ためになる話があれば知りたい。	例えば薬品の購入では、安く買っている病院の値段で他の病院も購入する支出見直しをしている。給食や物品も同様である。人材派遣、医師派遣は既に行っており、近々看護師や薬剤師も行う予定である。 距離的には遠い所で連携しているが松波総合病院から2つの病院へは30分かからない。30分以内というのが1つの医療圏の枠の考え方として大きな概念となっている。
6	アドバイザー	現在岐阜大学で出身地枠の地域枠の学生では飛騨出身が16人在籍している。今年度から1年生の学生を数名ずつ各病院へお願いしており、県内出身・他県出身を含め、岐阜県の医療に興味を持ってもらい育てていきたいと考えている。 また、地域医療に関する中央の霞ヶ関系の会議に出席し、地域の実情等も現場の人間から発信するようにしている。地域医療の不足地域の医師偏在化対策で、厚生労働省によりかなり大きな改革がなされる予定である。その中で、飛騨圏域がかなり脚光を浴びるモデルになるような取り組みの準備が始まっている。大学の立場だが、地域医療を守るために様々な支援をしていきたい。	